

指定管理者評価シート

事業名	老人福祉センター運営管理費	所管課(電話番号)	保健福祉局高齢保健福祉部高齢福祉課(211-2976)
------------	---------------	------------------	-----------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市中央老人福祉センター	所在地	中央区大通西19丁目
開設時期	平成元年6月	延床面積	1,500㎡
目的	老人に対する福祉の増進		
事業概要	老人に対する生活相談、健康相談、機能回復訓練及びレクリエーションの実施、職能訓練及び就職の指導、老人デイサービス事業、浴室その他の施設を老人の使用に供すること		
主要施設	大広間、職能訓練室、機能回復訓練室、浴室、娯楽室		
2 指定管理者			
名称	(社福)札幌市社会福祉協議会		
指定期間	平成26年4月1日～平成30年3月31日		
募集方法	非公募		
	非公募の場合、その理由：当センターで実施している老人デイサービス事業において、利用者に対し適切なサービスを提供していくためには、利用者と施設職員との間には継続的な人的信頼関係が必要不可欠であり、指定管理期間の満了により指定管理者が変更されると、施設の管理運営に重大な支障をきたし、利用者にも不利益を与えるおそれがある。管理が良好に行われている法人であるため、非公募とした。		
指定単位	施設数：1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由：		
業務の範囲	施設管理業務、各種相談業務、健康増進業務、教養講座業務、レクリエーション業務、老人デイサービス業務		
3 評価単位	施設数：1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由：		

II 平成28年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価
1 業務の要求水準達成度			
(1) 統括管理業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定 ▼ 設置目的を実現すべく、当法人が掲げる5つの原則(人間性、平等性、サービス性、地域性、効率性)に基づき、①人にやさしく、心のかよい合うサービスの提供②だれもが安心して利用できる施設づくり③サービスの質の向上と改善④地域から愛され信頼される施設づくり⑤効率的な経営の5つの基本方針を策定している。	当法人の基本理念及び札幌市の高齢者福祉施策、方針に基づき適正な管理運営を行うことができた。	A B C D 仕様書に沿って、適切な管理がされている。
	▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績 ▼ 平等利用に関する方針や取り組みを事務所内に掲示し、常に、職員に平等利用を意識した行動をする等、平等利用を目的とした職員研修等を実施している。実際の利用では年齢・性別・容姿などで差別することなく平等に利用していただくことで管理運営を行っている。	基本原則に基づいた基本方針や取組項目を策定し、適正に取組むことができた。	

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

▼「環境保全行動に関する要綱」に基づき、全職員が環境への負荷を低減するための取り組みを積極的に実行している。

▼館内の廊下、ロビー等共用部の照明については、前年度同様に照明等の管理を老人福祉センター事務室内に設置した専用スイッチで管理し、不要な部分の照明カットや照明の間引きなどの省エネ行動を引き続き行っている。

環境保全に関する内部研修を実施している。

環境保全点検簿の毎月チェックや照明機器等での節電を積極的に行うなど職員の意識向上を図ることが出来た。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

▼センターには、統括管理責任者(館長:課長職)を配置し、職務代理者として副館長(係長職)を配置している。

▼事務分掌により職員の業務分担を明確にし、配置基準を満たしている。

▼組織図や緊急連絡網等を作成しており、責任の所在や連携体制を明確にしている。

▼外部及び内部職員研修を積極的に行い、人材の育成や技術の向上を図っている。

責任者の配置や不在時の代理者の設置などで指揮命令系統を明確にし、効果的な管理運営を行うことができた。

当法人及びセンターにて定めた研修計画に基づく内外研修において、職員の資質向上を図ることが出来た。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

▼定期的に情報交換の場として、当法人が管理運営する市有施設の施設長が集まり各施設の諸問題等を討議する「定例施設長会議」や各担当レベルの「施設運営担当者会議」、デイサービスセンターの諸問題について検討する「生活相談員会議」、その他適正な経理事務を行うために「経理担当者会議」等を開催している。

職場内では月例職員会議、毎日の職員ミーティングを実施している。

▼当法人内部の会議や区内の関係機関との連携会議に幹部職員が参加し、その会議内容を施設内部で共有している。

職員が参加した会議および研修の内容をミーティング等で開示し情報の共有により、職員の知識向上を図り利用者サービスの向上に繋がった。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

▼清掃業務等を第三者委託した。業務遂行を把握するため日報、月報等の提出を行わせ、適宜、指示指導を行った。

履行確認を適宜行い、適正な業務管理を行った。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回 3月6日(月)	平成28年度事業報告および実績について 平成29年度事業計画について 苦情、要望(報告)、意見交換他
<p><協議会メンバー></p> <p>中央老人福祉センター利用者(2名) 中央区西19丁目町内会副会長 中央老人福祉センター教養講座講師 中央区第一地域包括支援センター 中央区円山地区児童民生委員 札幌市長生園園長 札幌市高齢福祉課職員 中央老人福祉センター館長・副館長 円山児童会館館長(当日欠席)</p>	

施設の現状、活動状況等を報告して理解を深めてもらった。
「老人福祉センターを拠点とした今後の取組み」について、参加された委員から、高齢者の健康増進や生きがいの支援、介護予防事業などの様々な取組の意見交換が行われた。

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

▼資金管理については、「社会福祉法人会計基準」により資金の区分、運用の基本方針、運用対象等について定められており、資金の適正かつ効率的な管理運用を行っている。また、定期的に監事監査や公認会計士による外部会計監査を実施している。
▼現金等の取扱については、「経理規程」に基づき、「経理事務の手引き」を定め、不適切な経理事務の未然防止として、外部監査、内部監査、現金実査、月末残高照合を実施するとともに、施設長が定期的及び抜きうちで現金実査を行った。

規程等を遵守するとともに、随時帳簿等の照合・実査を行い、適正な経理業務を実施することが出来た。

▽ 要望・苦情対応

▼苦情対応については、当法人の「苦情解決処理規程」「苦情解決処理要領」に基づき、適正に対応した。要望・苦情についての担当や役割を明確にし、施設内にその旨の掲示するとともに、要望・苦情の解決した部分を館内に掲示した。

苦情・要望の内容を職員に速やかに情報を共有し、利用者サービスの向上に繋げることができた。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)

▼ケース検討会議、職員ミーティングなど各種の記録を行っている。
▼モニタリングについては、総合アンケートの実施や投書箱を設置し、満足度調査や要望等を把握した。
▼自己評価については、札幌市の指示に基づき行った。

アンケートの実施や意見箱を設置し苦情要望等については、適宜、職員会議を行い迅速かつ適切に対応するように心がけ、検討結果を掲示板に掲示した。

<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼施設で働く職員に対して、時間外労働又は休日労働させる場合は、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、労働基準監督署に届け出た。 ▼必要条件を満たす労働者に雇用保険を加入させた。 ▼労働者の勤務形態、家族状況等に応じて公的年金や医療保険に適切に加入させた。 ▼1年に1回定期健康診断を実施した。 	<p>労働関係法令に基づく手続きは関係機関に届け出し、遵守している。職員間や上司と部下とのコミュニケーションを積極的に行い働きやすい職場環境を整えた。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">C</td> <td style="text-align: center;">D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">法令を遵守した管理を行うほか、職員間でのコミュニケーションを大切に、職場環境向上について取り組んでおり評価できる。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	法令を遵守した管理を行うほか、職員間でのコミュニケーションを大切に、職場環境向上について取り組んでおり評価できる。			
A	B	C	D								
法令を遵守した管理を行うほか、職員間でのコミュニケーションを大切に、職場環境向上について取り組んでおり評価できる。											
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼利用者の安全確保については、開館・閉館時の館内点検において各機器の動作状況や備品の状況などを確認し、行っている。 ▼当法人の「感染症ガイドライン」に基づきインフルエンザ、ノロウイルス等の感染防止対策を図った。 ▼入浴時における浴槽水の湯温管理を徹底して「適温」表示をするとともに、適切な入浴方法についての掲示を行い、利用者の安全を確保した。 ▼利用者からの施設・機器の使用上の要望等を聴きとり、改善してサービス向上に努めている。 ▼非常時等の職員連絡体制を確立して、迅速に行動するように努めている。 ▼施設賠償保険に加入して、安全な利用を確保している。 <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼清掃については仕様書に基づき、日常・定期清掃を実施し、衛生上良好な状態を維持した。 ▼警備、保守点検、駐車場管理、緑地管理については、社会福祉総合センターの指定管理者が実施した。 ▼備品の管理、修繕は適切に管理している。 <p>▽ 防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼社会福祉総合センターの指定管理者が主催する形式にて、他の入居団体と合同にて避難訓練を実施している。(年2回実施) ▼当法人が定める「札幌市老人福祉センター防火管理規程」「施設福祉部老人福祉センター防災マニュアル」「非常体制図」に基づき、利用者、職員の安全確保を図っている。 	<p>事故の未然防止のための施設点検を毎日行っている。利用者サービスアップについては職員会議等で意見交換し取り組んでいる。館内各箇所の点検や感染症蔓延時期の消毒を行うなどの衛生確保により、施設の維持管理に万全を期して、利用者の安全に努めた。</p> <p>専門性の高い業者に委託することにより、衛生的で快適な環境を確保することができ、適切に業務を遂行することができた。</p> <p>社会福祉総合センター全体で自衛消防訓練を実施のうえ利用者の安全確保や他団体との連携、協力を図った。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">C</td> <td style="text-align: center;">D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">利用者の安全確保のために必要な対策が適切になされている。施設管理においても、良好に行われている。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	利用者の安全確保のために必要な対策が適切になされている。施設管理においても、良好に行われている。			
A	B	C	D								
利用者の安全確保のために必要な対策が適切になされている。施設管理においても、良好に行われている。											

(4)事業の計画・実施業務	▽生活相談に関する業務		A B C D
			利用者ニーズを把握し、仕様書に沿って適切に業務を行っている。今後も、満足度が目標値に達するよう、利用者ニーズに沿った、さらに効果的な業務を実施してほしい。
	<p>▼職員が日常的に相談に応じることに加え、「札幌認知症の人と家族会」による介護相談や「マリッジカウンセリングセンター」による人生相談など各種の相談を行っている。 相談件数 310件(目標値300件) 満足度 77.42%(目標値 80%以上)</p>	<p>各種の相談機能を果たしているが、満足度がわずかに目標に届かなかったことから、相談内容の充実を図っていきたい。</p>	
	<p>▽健康増進、機能訓練に関する業務</p> <p>▼高齢者の健康維持、増進を図るため、各種の事業を実施した。 (1)医師会及び関係機関の協力により、専門職による各種の講話を開催した。 (2)運動トレーニング修了者を対象とし「貯筋クラブ」と称したフォローアップ事業を参加者任意のサークルとして週1回開催した。 (3)看護職員による健康管理を実施し、体調に不安がある方や入浴利用者に対し指導助言を行った。 (4)機能回復訓練室に体力維持、向上のため健康器具等を設置している。 ▼満足度 82.26%(目標値 85%以上)</p>	<p>運動の実践指導や情報提供をするなどの健康増進や看護職員等による健康相談を随時行ったが、満足度が目標値をわずかに下回ったことから、利用者ニーズを正確に把握し、満足の頂ける事業の実施を図っていきたい。</p>	
	<p>▽教養講座に関する業務</p> <p>▼自由参加講座 カラオケ、健康体操、フラダンス、スポーツダンス、民謡、舞踊、なつかしの歌声、椅子ヨガ、カーリンコン、コントラクトブリッジ 参加者数 19,151人 ▼定員制講座 皮革工芸、ペン習字、フラワーアレンジメント、木彫、大正琴、書道、陶芸、水彩画、絵手紙 参加者数 4,103人(申込み定員充足率100%) ▼利用者満足度 92.60%(目標値 80 %以上)</p>	<p>高齢者の生涯学習の観点から講座を継続的に実施している。さらに、健康志向の高まりから、利用者ニーズに合致した運動系の講座を充実させた。特に健康体操や椅子ヨガなど参加者が増加し、満足度の向上にも繋がった。</p>	
	<p>▽レクリエーション、各種行事の開催等に関する業務</p> <p>▼囲碁、将棋、オセロ、サークル活動等の日常的なレクリエーションに加え、演芸大会、社会見学会などの行事を計画に基づいて開催した。 ▼利用者満足度92.8%(目標値 90 %以上)</p>	<p>利用者ニーズに沿った行事、レクリエーションを行い、高評価を得ることが出来た。</p>	

	<p>▽ 老人デイサービス事業に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼利用人数 4,814人(前年度4,800人) ▼利用者満足度 93.76%(計画 90%以上) ▼老人福祉センター及び社会福祉総合センターに併設されている特徴を活かし、一般利用者との交流やセンターの資源を活用しながら適切なサービス提供を心がけた。 <p>▽ 高齢者の活動支援及び地域開放に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼教養講座の修了生を対象とした各種のサークル活動を支援した。 ▼高齢者の社会参加のためシルバー人材センターの周知や人材登録に促す取り組みを実施した。 ▼地域住民・老人福祉センター利用者が自主的に立ち上げたサークルの活動を支援した。 ▼中央老人福祉センターの利用者有志が自主的にサークルを立ち上げ、そのサークルに地域の独居高齢者等に参加することで高齢者の孤立を防止する活動を支援している。 <p>▽ その他設置目的に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼講座修了生のサークル活動を支援した。 ▼運動トレーニング事業などの介護予防事業を推進した。 ▼医療系、福祉系などの実習生を受け入れた。 ▼文芸創作活動として文芸誌を発行した。 	<p>毎日のミーティングや定例職員会議において利用者サービスの向上及び事故の防止について認識を共有するとともに、個別のサービス対応を実施するために利用者のニーズを把握する検討会議を定期的に行いサービスアップにつなげてきたことにより利用者満足度が向上した。</p> <p>講座修了者がその後も活動できるようサークル活動の場を提供し、高齢者の自主的な活動や生きがい支援に繋がっている。 地域の高齢者を支援するボランティア活動の輪が広がっている。</p> <p>医療系、福祉系の実習生を受入れを行っているが、老人福祉センターの役割や高齢者が必要としている健康に関わるニーズについて、幅広く学習する機会を提供できるため、実習生の派遣元に好評である。</p>
--	--	--

<p>(5)施設利用に関する業務</p>	<p>▽ 利用件数等</p> <table border="1" data-bbox="383 197 981 324"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H27実績</th> <th>H28計画</th> <th>H28実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>人数(人)</td> <td>58,758</td> <td>61,000</td> <td>60,851</td> </tr> <tr> <td>浴室</td> <td>人数(人)</td> <td>5,964</td> <td>6,000</td> <td>5,821</td> </tr> </tbody> </table> <p>▽ 不承認0件、取消し0件、減免0件、還付0件</p> <p>▽ 利用促進の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼「センター便り」を関係機関に配布した。 ▼タイムリーな情報をホームページに掲載した。 			H27実績	H28計画	H28実績	全体	人数(人)	58,758	61,000	60,851	浴室	人数(人)	5,964	6,000	5,821	<p>「センター便り」やHPの各種事業、行事等のお知らせにより、利用者増に繋がった。</p> <p>関係機関等に対して、あらゆる機会を使って周知を行い、利用促進に繋げるように努力した。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>計画値を達成することはできなかったが、広報活動など必要な業務は適正に行われていた。効果的な利用促進の手法を検討してもらいたい。</p>	A	B	C	D				
		H27実績	H28計画	H28実績																						
全体	人数(人)	58,758	61,000	60,851																						
浴室	人数(人)	5,964	6,000	5,821																						
A	B	C	D																							
<p>(6)付随業務</p>	<p>▽ 広報業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼当法人のホームページで中央老人福祉センターを紹介している。 ▼毎月発行している「センターだより」をまちづくりセンター、区民センターに適宜配布して利用を促した。 ▼社会福祉総合センター1階ロビーの掲示板に、センターだよりを拡大したうえで毎月掲示した。 ▼イベント等開催において「広報さっぽろ」の紙面に、告知記事を掲載のうえPRを行った。 ▼他の老人福祉センターの「センターだより」を館内に掲示した。 <p>▽ 引継ぎ業務</p> <p>継続指定のため引継業務なし</p>	<p>ホームページを利用したタイムリーな情報提供やセンター便りを各関係機関に配布することにより、利用の促進を図ることが出来た。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>適正な広報活動を実施している。今後は、新たな手法も検討して利用者の増加を図ってほしい。</p>	A	B	C	D																			
A	B	C	D																							
<p>2 自主事業その他</p>																										
<p>▽ 自主事業</p> <p>なし</p> <p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼清掃業務については、「札幌市母子寡婦福祉連合会」に委託した。 ▼市内業者に修繕や物品購入を依頼した。 ▼障がい者団体によるパンの販売を週1回支援し、利用者の利便性向上にも寄与した。 ▼ウォームシェアの周知、定着を図るため、各種イベントを積極的に実施した。 	<p>物品の発注や修繕については市内企業を活用し、パンの販売については、障がい者団体の活動支援を行い、好評を得ている。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>札幌市の施策に合った業務を適切に行っており、評価できる。</p>	A	B	C	D																				
A	B	C	D																							

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果			A	B	C	D
実施方法	<p>▼調査日:平成29年2月</p> <p>▼調査対象者:老人福祉センター利用者及びデイサービスセンター利用者とその家族</p> <p>▼老人福祉センター配布数 310枚 (回収数:308枚、回収率:99.4%)</p> <p>▼デイサービスセンター配布数 52枚 (回収数:52枚、回収率:100%)</p>	<p>今回のアンケート結果を受け止め、利用者満足度を高めるために職員の意識を高め、資質向上に努めるとともに、利用者の意見や要望を大切にしながらサービス向上を図っていく。</p>	<p>利用者のニーズが把握できていると思われる業務に関しては満足度が高く、評価できる。生活相談業務について、利用者の相談内容を分析し、効果的な相談事業の実施を検討するとともに、受付カウンター業務の接遇改善を図ること。</p>			
結果概要	<p>健康増進、機能訓練に関する業務、教養講座の開講、レクリエーション、各種行事の開催等で目標値を上回る満足度を得ることが出来た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活相談に関する業務 77.42%(目標80%) ・健康増進、機能訓練に関する業務 82.26%(目標80%) ・教養講座の開講に関する業務 92.60%(目標85%) ・レクリエーション、各種行事の開催等に関する業務 92.84%(目標85%) ・受付カウンター業務 対応:81.29%(目標80%)接遇:79.60%(目標80%) 					
利用者からの意見・要望とその対応	<p>(意見) 囲碁スペースがやや狭い(部屋)ので他に場所を設けてほしい。</p> <p>(回答) 施設の大きさが限られており当館においてほかに場所を設けることは出来ないことから、現状の場所でのご利用に引き続きご協力を頂きたくご了承のほどお願いいたします。</p> <p>(意見) お風呂の時間を長くしてほしい。</p> <p>(回答) 入浴時間は13時～16時となっておりますが、経費等の関係で延長する予定はございませんのでご了承願います。</p>					

4 収支状況				概ね予算通りの執行したが、介護保険料収入の減収により収支差額が▲878千円となったことから、介護保険事業における新規利用者の確保に尽力していきたい。	A	B	C	D
▽ 収支 (千円)								
項目	H28計画	H28決算	差(決算-計画)					
収入	76,491	74,099	▲ 2,392					
指定管理業務収入	76,491	74,099	▲ 2,392					
指定管理費	36,887	36,887	0					
利用料金	38,782	34,638	▲ 4,144					
その他	822	2,574	1,752					
自主事業収入	0	0	0					
支出	76,141	74,622	▲ 1,519					
指定管理業務支出	76,141	74,622	▲ 1,519					
自主事業支出	0	0	0					
収入-支出	350	▲ 523	▲ 873					
利益還元	0	0	0					
法人税等	350	355	5					
純利益	0	▲ 878	▲ 878					
▽ 説明								
<p>▼収入の利用料金については通所介護事業の収入計画を利用者数が下回ったことにより、介護保険事業収入が減収となり計画より4,144千円下回った。</p> <p>▼支出については、車両費、燃料費の減および法人全体での本部管理経費の削減により1,519千円減となった。</p>								

<確認項目> ※評価項目ではありません。		
▽ 安定経営能力の維持		適 不適
<p>・当事業の運営管理は、指定管理費及び通所介護事業の介護保険収入で行われており、支出の抑制も図りながら、収支のバランスをとり、安定した経営を行っている。</p>		
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応		適 不適
<p>・個人情報保護については、当法人の「個人情報保護方針」及び「個人情報の保護に関する規程」に基づき適正に対応している。</p> <p>・情報公開については、当法人の「情報公開規程」に基づき透明性の確保に努めている。なお、請求は0件であった。</p> <p>・暴力団の排除については、札幌市暴力団の排除の推進に関する条例に基づき、施設を暴力団の活動に使用させないことや、協定に関する契約については暴力団員や暴力団関係事業者を相手方としないように努めている。なお、暴力団関係と思われる相手方の利用や契約の実績はなかった。</p>		

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>地域の拠点として、また多くの利用者が集まる施設として、老人福祉センターに期待されている役割が益々増加している中において、利用者ニーズを適切に把握し様々な事業に取り組むことができた。</p> <p>地域の高齢者に対する支援や介護予防や健康増進に関係する事業、行事等も積極的に実施するとともに、センターの認知度をさらに高めるための広報活動も積極的に行ったことにより利用者数も増加し、地域や市民の皆さんにとっても必要な施設として有効に活用してもらうことができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者本位のサービス提供を心がけ、安心、安全で快適に利用してもらえる環境整備に努めながら、より良い施設づくりを今後も実践していく。 ・職員研修や自己研鑽の機会を設けながら職員の資質向上を図り、利用者との信頼関係をより確かなものにし安心して利用できる施設を目指す。 ・今後増加する独居、夫婦世帯を含めた高齢者が元気で楽しく生活を営むことを目的として、施設を中心とした介護予防・日常生活支援総合事業の促進、地域の住民組織、関係機関との連携を高めていきたい。 ・今まで以上にたくさんの高齢者にご利用頂くために、あらゆるところに情報のネットワークを構築し、情報を収集しながら、利用者ニーズにあった講座や行事等について積極的に検討を加えていく。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>施設目的に沿って、適切な運営管理が行えている。関係機関との協力・連携により、利用者増を図り、利用者の福祉の増進に寄与するよう努めており評価する。今後、既存の利用者だけでなく、より多くの高齢者に対して、健康増進・介護予防の事業を活用してもらえよう運営していくことを期待する。</p>	